

# MARITA 市議会だより



▲千灯路 “御利生祭” 初日の黄昏時に光の幻想 (10月16日 仲町)

## 9月定例市議会の あらまし

平成16年第5回定例市議会は、9月3日に招集され9月22日までの20日間の会期で開かれました。

定例市議会の初日には、小学校新築工事請負契約や教育委員の任命など21議案が上程されました。

一般質問は9月6日、7日、8日に12人の議員が登壇して行われ、8日の一般質問終了後には決算特別委員会が新たに設置され、併せて委員の選任、正副委員長の選挙が行われました。また、9日からは各常任委員会、特別委員会が開かれました。

最終日の9月22日には上程された議案14件、発議案1件を原案どおり可決し閉会しました。

### 主 な 内 容

- ☆可決された議案の概要……P 2
- ☆特別委員会から……P 3
- ☆一般質問から……P 4～P 8
- ☆コーヒータイム……P 8

## 9月定例市議会の日程

期 日	内 容
9月 3日(金)	本会議(開会、会期の決定、全議案一括上程審議)
6日(月)	本会議(議案に対する質疑、一般質問)
7日(火)	本会議(一般質問)
8日(水)	本会議(一般質問、議案に対する質疑、委員会付託)
9日(木)	新清掃工場建設特別委員会
10日(金)	教育民生常任委員会
13日(月)	新駅・まちづくり特別委員会
14日(火)	空港対策特別委員会
15日(水)	経済環境常任委員会 建設水道常任委員会
17日(金)	総務常任委員会
22日(水)	本会議(会議録署名議員指名、全議案審議、閉会)



# 14議案を可決・同意・承認

## 公津の杜小学校新築工事請負契約など

9月の定例市議会では、決算特別委員会が設置されたほか、教育委員の人事案件が2件、条例の一部改正案件が2件など14議案が審議され、原案どおり可決・同意・承認されました。また、議会に寄せられた請願1件は採択され、最終日に議員から提出された発議案1件は可決されました。なお、平成15年度決算関係7議案は継続審査となりました。

### ●可決された議案の概要

上程された議案は、各常任委員会に付託され審査が行われた後、最終日の本会議で可決されました。

#### 総務常任委員会

▼平成16年度千葉県成田市一般会計補正予算(第3号)

【内容】歳入歳出予算の総額にそれぞれ3億645万7千円の増額補正を行うもの。

【主な質疑】

問 児童手当の対象が、小学校3年生まで拡大したことにより、何人ぐらい増加したのか。

答 一月あたり約1千300名の増加。

問 緊急地域雇用創出特別基金事業の夜間休日地域安全パトロールと文化財保護費の内容は。

答 安全パトロールは11月から1月までの3カ月間について、月曜日から金曜日までは20時から0時までの4時間、土曜日・日曜日は13時から21時までの8時間を、警備員4名、指導監督者1名で実施しようとするものであり、文化財保護費については、市内の遺跡から発掘した資料、写真、図面を整理しようとするもの。

問 市税過誤納還付金(固定資産税の



▲防犯巡回指導員のパトロール隊

課税特例の適用漏れ)について、今後の対策は。

答 この件については、事務要覧(法解釈、運用のための指導解説書)に誤りがあるとの国の回答を得て、特例漏れが判明したものである。今後は、法解釈を十分に検証し、再発防止に努めたい。

▼土屋土地区画整理事業区域内の字の区域及び名称の変更に伴う関係条例の整理等に関する条例を制定するについて

【内容】土屋土地区画整理事業区域内の字の名称がウイング土屋に変更されたことに伴い、当該区域内の従前の字名を使用している関連4条例について、一括して改正しようとするもの。

▼市有財産の取得について(仮称)公津消防分署・消防訓練場用地

【内容】未買収地を取得しようとするもの。

【主な質疑】

問 計画年数など、今後のプラン等は

あるのか。

答 今年度に基本計画を策定する。

▼成田市と山武郡芝山町との境界変更について

【内容】千葉県企業庁が空港南部工業団地の造成事業を施行するにあたり、芝山町との境界を変更する必要がある。東三里塚及び芝山町岩山のそれぞれの1万1千769.69平方メートルの土地を等積交換し、境界を変更しようとするもの。

【主な質疑】

問 等積交換ということだが、評価は変わらないのか、また、境界変更により成田市にメリットがあるのか。

答 成田市に編入される区域は空港の敷地内であるが、芝山町に編入される区域は谷津田なので、現在の段階では評価に差がある。また、成田市は空港の敷地内、芝山町は工業団地となる区域なので互いにメリットがある。

#### 教育民生常任委員会

▼成田市心身障害児福祉手当支給条例の一部を改正するについて

【内容】千葉県重度心身障害児福祉手当の支給制度が廃止されたことに伴い、対象者を新たにこの手当の支給対象とするともに、これに併せて用語の整理を行うものとするもの。

【主な質疑】

問 市の条例で適用する支給額はいくらか、また新たに該当する方は何名か。

答 支給額は1万1千500円、新たに該当する方は10名。

問 障害という言葉の「害」の文字は、

相手に害を与えるというイメージが強いことから、妨げを意味する石への「碍」、または平仮名に変えるよう検討できないか。

【害】の文字については、法律上の名称で使っていることもあり、他市の状況、あるいは時代の流れを研究し、考えていきたい。

▼成田市立公津の杜小学校新築工事(建築工事)請負契約の締結について

▼成田市立公津の杜小学校新築工事(電気設備工事)請負契約の締結について

▼成田市立公津の杜小学校新築工事(給排水衛生・空調設備工事)請負契約の締結について

【内容】平成16年度千葉県成田市公設地方卸売市場特別会計補正予算(第1号)

【内容】高温時における品質の劣化防止及び衛生環境を確保するため、水産棟のマグロ類のせり場に冷却設備を設置するため6千995万円を補正し、歳入歳出それぞれ4億2千755万3千円にしようとするもの。

【主な質疑】

問 排除勧告を受けた業者の指名停止について、千葉県の基準の中に、近県に限るという条項が入っているか。

答 千葉県の指名停止基準の中では、情報交換のできる関東を近県の区域として処理している。

問 環境教育の側面はどういう工夫、配慮をしているか。

答 太陽光を取り入れ、冬暖かく、照明の節減のため採光の面で配慮している。また、夏涼しくということ、通風がとれるような工夫をしている。さらに、断熱材、省エネの照明器具を使用し、できるだけ環境への負荷を低減するとともに、雨水を階段の下に100トンほどためて、トイレの洗浄水として使う設計もしている。

#### 経済環境常任委員会

▼平成16年度千葉県成田市公設地方卸売市場特別会計補正予算(第1号)

【内容】高温時における品質の劣化防止及び衛生環境を確保するため、水産棟のマグロ類のせり場に冷却設備を設置するため6千995万円を補正し、歳入歳出それぞれ4億2千755万3千円にしようとするもの。

【主な質疑】

問 この施設の中でせりをするのか。

答 大物卸し売場と言っているが、中はせりを行う場であり、せりが終わった後に搬出をする。

#### 建設水道常任委員会

▼成田線成田・下総松崎間(14k480m付近)郷部大橋耐震補強工事委託協定の締結について

【内容】郷部大橋の耐震補強工事を行い、もって安全性の確保を図ろうとするもの。

【主な質疑】

問 橋脚下の液状化対策は。

答 下の固い地層の方に杭を入れていくので、十分耐えられる。

▼専決処分承認を求めるとして平成16年度千葉県成田市水道事業会計補正予算(第1号)Ⅱ専決第4号について

【内容】昨年に引き続き、公営企業金融公庫債のうち、7%以上の高率の企業債を借り換えることにより、金利負担の軽減を図るもので、手続上、7月下旬までに予算措置が必要となり、企業債に関する利息、借入額、償還元金の金額に変更が生じ専決処分をした。

#### ●人事案件

▼教育委員の任命の同意を求めるとして(荒井 清) [同意]

▼教育委員の任命の同意を求めるとして(小川信子) [同意]

#### ●その他案件

●スポーツ都市宣言について [可決]

#### ●発議案(議員提出の議案)

▼郵政事業の現行公社制度堅持を求める意見書 [可決]

#### ●請願の審査結果

▼郵政事業の現行公社制度堅持を求める意見書の提出に関する請願書 [採択]

### ●決算特別委員会を設置 委員長に 内山 健 議員

平成15年度決算関係議案を審査する決算特別委員会が、9月定例市議会において設置されました。



- 健 等 喜 夫 勝 子 昭 嗣
- 照 茂 竹 俊 満 正 善 智
- 山 嶋 保 藤 間 立 池 川 瀬
- 内 村 海 伊 加 足 小 小
- 長 長 員 員 員 員 員 員
- 委 員 委 員 委 員 委 員 委 員
- 委 副 委 委 委 委 委 委

# 特別委員会 から

## 空港対策 特別委員会

執行部から「航空機騒音の評価方法の見直しと、N.A.R.I.T.A.ナンバールの経過等について」報告がありました。

成田市が行った航空機騒音評価調査の結果を受け、空港圏自治体連絡協議会として、国・県に対し、評価方法の見直しについて要望した。また、現在、成田市は、ローマ字による成田ナンバーの創設を目指しており、空港圏自治体連絡協議会の構成団体、議会の連絡協議会メンバーなど、成田国際空港周辺自治体12市町村長の連名により、国土交通副大臣に対し要望書を提出、さらに、国土交通省への要望活動を行うべく、現在、日程調整中であるとのことでした。

# 国に意見書を提出

9月定例会市議会では、議員から提出された議案(発議案)1件が可決され、国会及び関係行政機関に提出されました。

### 郵政事業の現行公社制度堅持を求める意見書

日本郵政公社は、窓口ネットワーク、郵便事業、郵便貯金事業、簡易保険事業という四つの重要な機能を担う存在である。

今般、政府において、郵政事業の民営化が閣議決定されたが、郵政事業の民営化が実施された場合、郵政事業の全国一律的なサービスの維持継続が困難となり、不採算地域から郵便局が撤退するなど、地域住民の暮らしや地域社会に与える影響は大である。

よって、国においては、郵政事業の現行公社制度を堅持されるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成16年9月22日

千葉県成田市議会

次に、「平成15年度新東京国際空港周辺航空機騒音測定結果について」成田市の所有管理している騒音測定局22局、及び高度コース局4局のデータを整理解析した前年度の測定結果の報告があり、イラク戦争や、新型肺炎のS.A.R.S.の流行によって運航機数が減少した要因もあつて、騒防法第1種区域外側の測定局で、年間値75Wを超えた測定局はなかったこと、さらに、新型の航空機は、旧型機に比べてコースを遵守する能力が高く、低騒音であることから、機種の更新が進めば、より騒音を低減することが可能になるとのことでした。

次に、成田国際空港株式会社から「2005年度政府保証債要求について」の報告があり、年度末にかけて決定する2005年度経営計画に先立ち、国の概算要求に合わせ政府保証債の要求を行ったこと。また、その概要及び金額は、平行滑走路の整備2、500メートル化に必要な当該年度額、誘導路改修等の空港基本施設の整備、第1旅客ターミナルビル改修等の旅客取扱施設の整備など、対象事業となる空港機能の整備費625億円の40%にあたる250億円であるとのことでした。

## 新駅・まちづくり 特別委員会

成田高速鉄道アクセス株式会社と千葉県からそれぞれ北千葉道路、成田新高速鉄道の現状と今後の予定について報告がありました。

成田新高速鉄道については、建設プロジェクトの事業概要、整備内容、環境アセスメント等の報告があり、環境アセスメントの準備書、評価書の公告縦覧を経て国土交通省から工事施行認可をいただき、平成22年度の開業のために17年度着工に向かい懸命の努力をしているとのことでした。

次に、北千葉道路について全体計画と今回事業化する千葉ニュータウンの若萩から成田市大山の国道295号までの

説明があり、北千葉道路の整備は本来県が取組むものだが、政府の都市再生プロジェクトに位置づけられている空港アクセス道路という重要性から、国土交通省の平成17年度概算要求新規事業個所として盛り込まれたとのことでした。

次に、執行部から6月定例会以降の成田新高速鉄道と成田新高速鉄道新駅周辺まちづくりの動き及び状況について報告がありました。

成田新高速鉄道線に係る鉄道騒音の現地視察を地元からの要望を受け6月15日に北須賀区、24日に八生地区、7月6日に八代区、船形区を対象につくばエクスプレス沿線で実施しました。

7月30日には市役所の大会議室で成田新高速鉄道及び北千葉道路に関する現況報告会を開催し、136名の出席をいただきました。

8月28日には八代地区で報告会を行い、「鉄道及び道路事業の必要性は認識しているが、農業政策や地区のメリットは。」との発言があり住民アンケートを実施し要望書を提出したいとのことでした。また、8月18日の市役所及び24日の公民館のタウン・ミーティングでは両事業にかかる説明を行っています。この中で「地元へのメリットがない。情報提供が遅い。ルートを変

更して欲しい。」との意見が出され、「これらの意見、ご質問をしつかりと受け止め、地域住民の方々や、事業者と協議しながら対処したい。」と答えたとのことでした。

次に、新駅周辺まちづくり等について、整備スケジュール、現在検討中の内容や課題の報告があり、成田ニュータウン北駅周辺整備については、現在整備基本計画を作成中だが、平成18年に千葉県の定期線引きが予定されており、それに向け都市計画の原案を作成し、平成18年度末に都市計画決定を19年度着工、22年度までに既成ではあるが、駅前広場等の整備を図るとのことでした。

「主な質疑」  
17年度着工における今後の詰めめは、県単独の4.2キロ区間と国の5.6キロ区間の概算は、

鉄道については、国の補助金等で事業を進めている関係から、国の認可をいただけてから用地買収に入り、具体的な話はそれ以降になる。また、道路の総額については両方で約560億円。

3事業者となった場合の連携は、地権者に混乱を与えないよう対応する。

土屋駅については、今この時期に請願駅で位置づけは、

県と協議した結果、赤字になる可能性があり、早い時期に問題をクリアし方向性を出したい。

## 新清掃工場建設 特別委員会

執行部から「小泉区との協議について」報告があり、新清掃工場と余熱利用施設及び多目的広場、さらには関連する道路整備について地元の小泉区と基本的な合意に達したとのことであり、具体的な内容としては、新清掃工場の位置はリサイクルプラザの北側で、余熱利用施設及び多目的広場はさらに北側とのことでした。

余熱利用施設は、温浴施設とともに、飲食、休憩、交流機能等を備えた複合施設であり、多目的広場は、屋外でのスポーツ及びイベント等に対応可能な

施設を計画しているが、今後議会や地元の見解を参考にしながら具体的な中身を詰めていきたいとのことでした。

また、新たな道路は、新清掃工場と余熱利用施設等さらには、既存の主要道路を結ぶ道路として計画したものであり、富里市との広域ごみ処理体制への転換や、余熱利用施設等の利用者の利便性等を考慮して整備したいとのことでした。

次に、全体スケジュールとしては、新清掃工場については、環境アセスメント、機種選定から入札を経て着工並びに都市計画変更の手続きという流れであり、附帯施設については基本構想、基本計画、実施計画という段階で進め、道路整備については、施設用地確保と同時進行を想定しており、いずみ清掃工場の脇を通る道路は、旧施設の解体工事と調整しながら進める必要があるとのことでした。

次に、6月定例会以降の小泉区との協議経過としては、6月及び7月、さらに8月に対策委員会と協議し、その後に対策委員会の内部協議を経て、小泉区の区会に諮った結果、地元として基本的な合意する旨の連絡をいただいたとのことでした。

「主な質疑」  
余熱利用施設、多目的広場の面積は、また、温水プールは含まれるか。

面積は概ね4ヘクタール程度を想定し、温水プールについては、地元にて提案している。

地元との基本協定の範囲は、具体的な内容はまだ固まっていない。議会及び地元と協議しながら、基本協定と詳細協定の2段階で考えている。

この事業で大きいものは機種の選定と附帯事業だが、いつ基本協定を結ぶのか。

基本協定については、立地の受け皿になるものをまず締結し、その後具体的な作業から問題となる部分の詳細協定を協議する。

騒音下で作れないものの規制はないか。

騒特法と都市計画法があるが、提案の余熱利用施設、多目的広場については法律の規制を受けない。

# 一般質問から



キジモチセイ

一般質問は、市長などに市政全般について疑問な点や方針などをたずねるものです。

9月定例市議会では12人の議員が質問に立ちました。

議会だよりに掲載されている内容は、会議録を抜粋したものです。詳しくは会議録をご覧ください。閉会后約2ヵ月で、市役所行政資料室、市立図書館、公民館図書室でご覧いただけます。

## 少人数数学級・介護保険 合併・入札制度について

馬込勝末 議員

**問** 少人数数学級の実施について。  
①習熟度別指導の現状と問題点についての考えは。  
②学級規模が小さくなるにつれ、学習の到達度、情緒の安定、教員の満足度が上がるといふ少人数数学級の必要性、役割について。

**答** ①習熟度別指導の実施にあたり、優越感や劣等感を持つことがないよう十分配慮を行うとともに、児童生徒や保護者に対して納得のいく説明を行って実施しています。現在、市内で行われている習熟度別指導による少人数指導を実施していくことは、学習内容的確に身につけるために効果的であり、学力の向上に有効な指導形態と考えています。

②児童生徒一人一人の個性に応じたきめ細かな学習指導と、多様な学習集団が編制できるよう、少人数学習指導の充実に努めることが重要であると考えますので、少人数学習指導をより一層推進していきます。

③千葉県市町村教育委員会連絡協議会として、千葉県教育委員会に対し、欧米並みの少人数級編制ができる財政措置を国に働きかけることと、小学校一部学年における38人学級編制を小中

学校全学年に拡充することという内容の要望書を提出しています。

**問** ①政府は介護保険制度の見直し作業を行っているが、国に意見を。

②成田市社会福祉協議会が介護保険事業から手を引くことを決め、来年の4月を最後に作業が進められている。介護保険の後退が議論されている今こそ、市や福祉協議会など公的機関の果たす役割は大きいと思うが。

**答** ①全国市長会では、平成16年4月14日付で介護保険制度の基本的見直しに関する意見を国に提出し、今後、作成する制度見直し案に十分反映されるよう強く要請したところです。成田市としては、保険給付のあり方等介護保険制度の見直し全般について国の動向を見守ってまいります。

②介護保険も5年目に入り、訪問介護や居宅介護支援事業には他の社会福祉法人や医療法人、農業協同組合、NPO、企業等が参入し、実績を上げてきました。市民が質の高い介護サービスを引き続き利用できるよう、事業者の指導等を実施していきます。

**問** 合併により財政的なマイナスが起ると、サービスの低下や負担の増加で補うことになる。負担は低い方に、

サービスは高い方へという約束を守るべき。

**答** 都市計画税は、市街化区域と市街化調整区域の線引きが行われている成田市のみが課税を行っており、成田市の制度を適用し、新たな課税区域の設定は合併後の都市計画の見直しに合わせて検討することとしています。国民健康保険税・介護保険料・ごみ収集に関する負担・水道料金などは、事務事業の調整作業を進めている段階です。合併に伴う影響については、現時点では説明できる状況にありません。

**問** 工事の規模、価格を考慮し、地元中小業者への発注なども考慮した制限をつけ、それに合致する業者ならば、誰でも入札に参加できる、この仕組みをきちんと行えば、談合や政治家の介入を排除できると思う。制限つき一般競争入札制度の本格的導入を。

**答** 過去、試行的に制限つき一般競争入札あるいは公募型指名競争入札を実施しました。しかし、制限つき一般競争入札を実施したにもかかわらず残念ながら幾つかの工事において談合情報が出た、その都度入札を延期するなどし、事情聴取なども行いました。今回のような一連の騒動を踏まえ、今後の入札制度のあり方については、改めて検討します。そのために、県内あるいは県外の幾つかの先進地を視察し、資料収集を行い、再度、制限つき一般競争入札または郵便入札等の導入についての検討をした上で、最終的には電子入札の導入等を図れるよう努めていきます。



▲現在の入札風景

## 災害時における 水とトイレの確保について

伊藤竹夫 議員

**問** 阪神・淡路大震災から9年が過ぎましたが、あの震災から何を学び、将来に何を伝えるかを考える必要がある。災害を防ぐことは不可能ですが、被害を減らすことはできます。教訓を生かし、可能な範囲での危機管理システムを構築すべきと考えます。

①成田市が阪神・淡路大震災から学んだことは何か。  
②成田市における地域防災力、危機管理能力の自己評価について。  
③ライフラインの確保の中で、特に震災発生直後から数日間の水とトイレをどのように処理しようと考えているか。

**答** ①大災害に対しては、行政のみには限界があり、市・関係機関・市民が総力を結集し、平時の備えと災害時の的確な対応により、市民の生命・身体・財産を守ることが重要であると考えます。地域防災計画は、大震災以降に改正された災害対策に関する法律等に基づき、成田市の特性を踏まえて策定しており、目指すべき防災のビジョンを示しています。

②地域防災計画において、実施すべき防災対策を定めており、本計画をもとに、自主防災組織の普及・情報通信体制・備蓄体制の整備・防災訓練の実施など、災害に備えたさまざまな予防対策を実施し、防災力の強化に一定の成果を上げていると考えています。今後は社会情勢の変化に対応した防災対策のあり方を検討し、課題の解消に取り組んでいきます。

③12カ所の防災井戸等により上水を確保し、市給水車を初め各関係機関の協力を得て給水活動を実施します。水洗トイレが使用できない場合には、市内13カ所の備蓄倉庫に備蓄しています。簡易トイレを供給し、備蓄数の不足が予想される場合は、仮設のトイレを県から調達するなど、万全な対応を図れるように検討しています。

**問** 政界の不祥事から浮き上がって

るキーワードは、秘書と口利きであると思います。政界の対応は、公設秘書制度の見直しと公共事業の口利きに対する歯止め策です。政治と金の構造問題では、公共事業の口利きの方がはるかに深刻と言えます。

①公津の杜小学校建設に伴う談合疑惑がうわさされているが、疑惑を断つための方策、対策があるか。  
②電子入札の取り組み状況について。  
③外部委託による公共工事監督員の設置で、品質の向上・安全の確保・工程管理の強化を図ることが、市民の信頼確保につながると思うが見解を。

**答** ①公共工事の入札は、透明性の確保・公平性の確保・不正行為の排除等が重要だと思います。今後、県内あるいは県外の幾つかの先進市を視察し、資料の収集を行った上で、一般競争入札または制限つき一般競争入札、郵便入札等の導入を再度検討します。

②電子入札の導入は、まず入札制度自体の改善を検討し、その後、入札制度の方向性が明確になった時点で、最終的に電子入札の導入等が図られるよう努め、平成18年度中には導入したいと考えています。

③工事の監理は、書類上の確認審査はもとより、工事担当課の監督職員が定期的に現場に出向き工事施工業者の現場代理人・主任技術者等と施工及び工程管理など、直接指導監督を行っています。大規模建設工事は、専門の設計監理業者に工事の監理を委託し工事全般にわたり、市の担当職員とともに指導にあたり、現場の状況は常に把握しており、下請負人を使用している場合にも適切な指導をしています。

**問** 議員提案の施策への反映とその進捗状況について3点お伺いします。

①市町村合併を市民が理解する方法は。  
②ニュータウン商業地区の活性化について。  
③行政改革について、意識改革と政策形成能力の向上が必要との回答をいただいたが、具体的な取り組みは。

**答** ①住民説明会と並行して新市建設計画概要版や協議会だより、協議会のホームページなどによるパブリックコメントを実施し、より多くの方々の意向の把握に努めます。

②空き店舗対策は、他市の成功事例、あるいはニュータウン地区商業地域の特性と類似した地域の事例とを調査研究し、活性化に取り組みしていきます。

③平成14年度から実施している事務事業評価では、全庁的に行政評価システムの取り組むことで、事務事業の目的の再認識や事業の課題やその改善策を各職員がみずから検討するなど、職員の意識改革を進めています。

## 災害時要援護者の緊急対策について

水上幸彦 議員

**問** 防災について質問します。

①高齢者など災害弱者(災害時要援護者)の緊急対策について。

②防災に対する啓発の推進について。

③災害基本計画(地域防災計画)の見直しについて。

**答** ①いざ災害となれば、高齢者等の災害弱者への情報伝達、避難誘導には地域の方々の協力が不可欠と考えておりますので、プライバシーの問題に配慮しながら緊急対策を進めたいと考え

ています。

②自主防災組織リーダー研修会を開催し、防災思想の普及・啓発に努めています。今後の課題としては、高齢者、障害者、外国人等の災害弱者を十分に慮した啓発に努めていきます。

③地域防災計画の見直しについては、市民生活の安全確保と危機管理体制の充実に推進するため、必要のあるときは見直しを図るなど対応しています。



▲平成児童ホーム

問 児童ホームの今後の計画について質問します。

- ① 余裕教室の利用について。
- ② 少人数での設置について。
- ③ 開設日数、時間延長について。
- ④ 障害児の受け入れについて。

答 ① 成田市には9カ所の児童ホームが設置されていますが、そのうち4カ所については、小学校の余裕施設及び余裕教室を利用しています。現状ではこれ以上の余裕教室はないという状況にあり、特別教室等の転用については、教育委員会と協議してまいります。

② 児童ホームへの入所を希望する児童の把握に努めながら、順次整備したいと考えます。

③ 現在策定中の次世代育成支援行動計画の中で、児童ホームのあり方についての検討を進めているところです。

④ 障害児の受け入れの現状については、市内の小中学校に就学中の児童にあつては、特別に支援を必要とする児童についても入所を受け入れています。

問 成田市ホームページのバリアフリーの取り組みについて伺います。

成田市ホームページが8月23日からリニューアルされ、見やすくなったと思うが、情報弱者に対する情報バリアフリーの面でどんな考え方があったのか。また、カラーバリアフリーについては、どう計画をされているのか。

答 ホームページのバリアフリーへの取り組みについては、リニューアルにあつて、今回は新システムへのスムーズな移行と情報更新方法の見直しという内容の充実を重点を置いたものであり、バリアフリー対応を含めた諸機能の充実については、段階的に進めているところです。今後、より充実したホームページづくりを進めていきたいと思ひます。

答 市場も設置から30年が経過し施設等の老朽化が見られますが、その都度、修繕や工事を施し、業務に支障がないように改善し、さらには施設整備を進め、市場の活性化を進めているところです。移設問題については重要な課題であると認識していますので、今後、市場関係機関等と空港騒音下の土地の有効利用を含めて、これまでの市場を支えてきた仕組みを見直すとともに、競争原理の一層の導入やさまざまな食

### 道の駅(空港市場)と事務改善について

青野勝行 議員

- ① 選挙の投票率向上についての対応は。
- ② 投票所の環境整備について、期日前投票所の増設計画は。
- ③ 投票所に車いすを用意できないか。

問 選挙について質問します。

① 選挙の投票率向上についての対応は、成田市を魅力的にするために、官民各団体などの協力によって、集客力のあつた道の駅を、きちんと採算のとれるような形で、ぜひつくりたいと考えています。また、たくさんのお客さんを引き寄せ、また受け入れることのできる現代の消費者のニーズに合った新しい形の公設市場を空港市場とでも言うべき形で、成田市の新たな魅力として創設する時期ではないでしょうか。

問 騒音下の土地の有効活用としての道の駅(空港市場)についてですが、成田市を魅力的にするために、官民各団体などの協力によって、集客力のあつた道の駅を、きちんと採算のとれるような形で、ぜひつくりたいと考えています。また、たくさんのお客さんを引き寄せ、また受け入れることのできる現代の消費者のニーズに合った新しい形の公設市場を空港市場とでも言うべき形で、成田市の新たな魅力として創設する時期ではないでしょうか。

利用者の側に立つた施設である道の駅を併設する形で、成田の陸路・空路を多方面から十分に生かすことのできる場所に、成田の空港市場とでも言うべき新しい市場の形で、騒音下の土地を有効利用することもあわせて移設することはできないか。

答 市場も設置から30年が経過し施設等の老朽化が見られますが、その都度、修繕や工事を施し、業務に支障がないように改善し、さらには施設整備を進め、市場の活性化を進めているところです。移設問題については重要な課題であると認識していますので、今後、市場関係機関等と空港騒音下の土地の有効利用を含めて、これまでの市場を支えてきた仕組みを見直すとともに、競争原理の一層の導入やさまざまな食

### 成田市の抱える諸問題と教育行政について

加瀬問俊勝 議員

- ① 成田空港の平行滑走路2、500メートル完全化に向けての取り組みは。
- ② 騒音地域の土地利用計画は、具体的にはどのような進め方があるのか。
- ③ 本県計画である平行滑走路の整備は必要不可欠であると十分認識しており、今後とも空港の完全化に向けて引き続き努力をしていきます。
- ④ 騒音地域全体の土地利用計画として位置づけ、野毛平地区における里山整備、東和泉、西和泉や十餘三地区における環境整備などを実施しています。

問 成田新高速鉄道、北千葉道路の計画について。

- ① 現在の状況と今後の取り組みは。
- ② 北千葉道路と主要道路の交差と構造。

答 ① (仮称)成田ニュータウン北駅は、駅の利便性の確保や駅周辺の将来的なあり方等の検討を行っています。土屋駅は、現在の事業計画には含まれていないことから、その設置に向けた協議を行っています。北千葉道路は、成田新高速鉄道整備事業と一体的に整備することから、平成17年度の国土交通省の概算要求に国直轄事業と県事業を盛り込んでいただけたところです。

② 主な構造としては高架構造、トンネルボックス構造、並びに切土・盛土の土工部があります。主要道路との交差は、国道464号線、市道北須賀大竹線、都市計画道路ニュータウン中央線、国道408号線、国道51号線及び国道295号線と立体交差または平面交差で接続する計画です。

問 新清掃工場の現状と今後の見通しについて。

- ① これまでの経過や富里市との合意内容。
- ② 今後のスケジュール想定。
- ③ 建設予定地とした小泉地区との協議。
- ④ 附帯設備整備の具体的内容。
- ⑤ 新清掃工場等の建設に係るパブリックコメントや市民参加の方向性などについて。

答 ① 国や県の方針に基づくものとして富里市と共同で整備し、建設場所は成田市内とすることで本年2月に基本的な合意となりました。② 現在は施設の規模、機種や事業者の選定、完成後の管理体制などを詰めていく段階にあります。③ 3月末から地元と何度も協議をしています。④ 余熱利用施設などを含めた計画と地域振興等が大きなテーマとなっています。⑤ 今後とも地元との十分な合意とともに、市民のみなさんにもわかりやすい形で事業を進めていきます。

問 ① 学校の適正規模についての取り組みは。

- ② 成田市の全体的な学習指導、教科書検定基準改定に伴い「発展的内容」としての学習指導に対する対応。
- ③ 英語教育の今後の方向性について。
- ④ 全国的な問題であります長期欠席、不登校への対応について。
- ⑤ 各スポーツ広場を今後どのように確保していくのか。
- ⑥ 新教育長としての抱負は。

答 ① 単に現在の学校規模だけでなく将来に向けて学校の良好な学習環境を維持していくという中長期的な視点に立つて、地域と保護者の理解を得ながら、ある程度時間をかけつつ段階的に進めていきます。

② 子供たちが基礎的・基本的な事項を身につけながら学ぶ楽しさを実感できるように、研修会等を通じて指導助言に努めていきます。

③ 小学校英語科指導基準を策定し、平成17年度以降、順次国際教育推進特別措置の適用拡大し、すべての小中学校で特別措置を活用することができるよう努めていきます。

④ 教育委員会と学校が連携を深め、長期欠席者、不登校児童生徒の解消に一層努めてまいります。

⑤ 1地区1スポーツ広場ということを原則と考え、恒久的な用地の確保に向けて鋭意努力していきます。

⑥ 成田市学校教育長期ビジョンの「ともに学び、遊び、育つまち成田」を基本理念として、学校、家庭、地域社会がパートナーシップのもとに一体となつて国際都市成田の未来を支える「ひとづくり」を目指した学校教育を積極的に推進していきます。

### 公共施設使用料の免除と市民サービスの普及について

小山 昭 議員

問 公共施設使用料の小中高中生の免除及び減免について3点お尋ねします。

答 ① 教育上の目的により、市内小中高中生が使用する場合は全額、その他使用の目的が公益によるものまたは教育委員会が必要と認めるものが使用する場合



▲市民から親しまれている成田国際文化会館

に関する施行例は。  
答 ①平成15年度、サッカー大会等小中学校体育連盟の事業のほか、市内中学校の体育館改修に伴う運動部活動について免除した経緯があります。  
②減免を行った経緯については、今のところありません。

問 市民サービスの普及について3点お尋ねします。

①地方公共団体の特定事務の郵政官署における取り扱いに関する法律があるが、郵政官署法の取り扱いと事務処理の展開について。  
②郵便局で諸証明を受けられないか。  
③自動交付機の設置計画について。

答 ①市町村が事務処理をしている戸籍簿本、住民票、印鑑証明、外国人登録原票記載事項証明、納税証明などの証明交付事務の一部が、一定要件の中で郵便局の窓口で取り扱いが可能となりました。成田市においては、まだこの法律に基づき郵便局との業務協定は行っていないませんが、市内20カ所の郵便局の協力により、住民が郵便局において手軽に戸籍簿本や住民票の交付請求ができる「成田メール」という制度があります。

②市民サービスのとらえ方については、窓口業務のより一層の充実を図ることを前提に、現行の制度を活用していくとともに、郵便局との業務連携についても、市内全域の人口動態や住民ニーズを的確に把握し検討していきます。  
③窓口サービスの向上を図るため、公民館を初めとする公共施設を中心に、電算オンラインシステムとの調整を図りながら自動交付機の機種、費用対効

果、全庁的な窓口改善の中で検討しています。

問 議員提案の施策への反映とその進捗状況について4点お尋ねします。

①NPO推進室の設置について、現在は何団体で、その種別とそれぞれの団体数、そして今後のNPO推進室設置についての見解を。  
②コミュニティバス事業について、公共・公益施設を循環するバスの運行に向けて作業を進めるとのことだが、進捗状況は。また、交通弱者、70歳以上の市民に対して無料バスの発行はできないか。  
③教育文化施設・文化財保存展示施設の進捗状況について。  
④千葉県の医療計画見直しにあわせて、総合病院の整備は。

答 ①NPO団体は、昨年9月から現在までに4団体が設立され、合わせて10団体が活動しており、事業分類は福祉関係が6団体、学術・文化・芸術等の振興関係が1団体、環境保全関係が1団体、人権擁護関係が1団体、子供

の健全育成関係が1団体となっており、NPO推進室の設置は、NPO団体数の推移及び活動状況等を見守りながら検討していきます。  
②各地域から市の中心部へ至るコミュニティバスルートと市街地の公共施設を回る循環運行ルートを検討しているところです。在来線を利用する高齢者への無料バスの発行は、引き続き研究課題とさせていただきます。  
③教育文化施設は、国際文化会館の改修計画や、JR成田駅前再開発事業等の計画に教育文化施設構想の機能の一部を組み入れられるかの検討を行い、現在に至っています。これらの計画の進捗状況を踏まえつつ検討を深めていきます。文化財保存展示施設は、施設にふさわしい立地条件などを考慮し、作業を進めていきます。  
④平成18年度以降の次期千葉保健医療計画において、今後の市町村合併の動向により、見直しが大きく行われることになるであろうとの県の見解がありましたので、その動向を見極めながら調査・研究をしていきます。

### 入札制度の抜本的改革を

足立満智子 議員

問 公津の杜小学校建設をめぐる談合情報が飛び交いました。入札談合を排除していくためには制度の抜本改革以外に道はないと考え、質問します。

①透明で公正な競争入札を実現するには何よりも市長の強い改革への意思が必要。この間の混乱に対する見解は。  
②千葉県建設工事適正化指導要綱は契約締結後原則1カ月以内に下請業者選定通知書提出が義務づけられている。成田市でも建設工事請負契約にあたり、下請負人の通知等が義務付けられているが、期限を設けるべきではないか。  
③一般競争入札の導入を求める。成田市でも電子入札の導入が予定されているが、指名競争では談合は排除できないと言われる。これを機に、一般競争入札導入を視野に入れた調査の実施を。  
④公共事業に対する市民の不信感の最

大になっていくこと。癒着、外部からの不当な圧力や介入を防止し、行政組織内の情報の共有化、手続きの透明性、内部告発の保護も含めた仮称「口利き要綱」の作成を。  
⑤成田市指名建設業者との関係を含め、市長の政治倫理に対する姿勢。

の健全育成関係が1団体となっており、NPO推進室の設置は、NPO団体数の推移及び活動状況等を見守りながら検討していきます。  
②各地域から市の中心部へ至るコミュニティバスルートと市街地の公共施設を回る循環運行ルートを検討しているところです。在来線を利用する高齢者への無料バスの発行は、引き続き研究課題とさせていただきます。  
③教育文化施設は、国際文化会館の改修計画や、JR成田駅前再開発事業等の計画に教育文化施設構想の機能の一部を組み入れられるかの検討を行い、現在に至っています。これらの計画の進捗状況を踏まえつつ検討を深めていきます。文化財保存展示施設は、施設にふさわしい立地条件などを考慮し、作業を進めていきます。  
④平成18年度以降の次期千葉保健医療計画において、今後の市町村合併の動向により、見直しが大きく行われることになるであろうとの県の見解がありましたので、その動向を見極めながら調査・研究をしていきます。

### 入札制度の抜本的改革を

足立満智子 議員

問 団塊世代が一斉に退職する「2007年問題」。これからの地域社会はリタイアした人々等によるボランティア活動やNPO活動が住民生活に影響を与えるようになると思う。自治体として、まず手始めにリタイア予備軍や広く市民を対象にしたNPO等コミュニティビジネスの養成講座を開設する考えはないか。

答 ①今回の一連の怪文書、談合情報等の騒動については、いたずらに市政の混乱を招いたと同時に、個人を陥れようとする中傷的で非常に悪質なものと考えており、今後このような事態を招かないよう市政運営にあたりたいと考えます。  
②千葉県建設工事適正化指導要綱を参考にするとともに、県内他市の整備状況を調査し、将来的には制定する方向で検討していきます。  
③県内あるいは県外の幾つかの先進市を視察して、資料の収集を行い、一般

競争入札または制限付一般競争入札、郵便入札等の導入について検討した上で、最終的には電子入札の導入等が図られるように努めていきます。  
④入札制度の検討とあわせ、要綱の作成及び導入につきまして検討していきます。  
⑤就任前のこととはいえ、議員からご指摘いただいた点については、誤解を招いている点もありますので、今後、対応していきたいと思えます。

### 請願と陳情

#### 請願について

請願は、住民の意見や要望を政治に反映させようという考えに基づいて、憲法に保障された国民の権利の一つで、行政にかかわることなら誰でも市議会に対して請願することができます。

請願は採択されても請願のとおり実施する義務は生じませんが、民主政治のもとその趣旨を十分に尊重し、行政に反映されなければなりません。

#### 請願の手続き

◎請願には、市議会議員1人以上の紹介が必要です。  
◎請願書は、いつでも提出することができますが、定例議会開会一週間前の午後5時までに提出されたものについては、その定例議会にて審議します。その後のものについては、次の定例議会において審議することとなります。

#### 陳情・要望など

陳情・要望などには、議員の紹介は必要ありません。議長宛に提出された陳情や陳情に準ずる内容の要望などは、関係する委員会にて審査します。

◇詳細については、議会事務局（電話20-1570）までお問い合わせください。

### 教育を市民に開く 取り組みについて

海保茂喜 議員

問 教育を市民に開く取り組みについて3点お尋ねします。

①学校での教育委員会議の開催は。  
②校長会や教頭会の傍聴を。  
③学校評価を生かした学校改善の具体的な取り組みは。

答 ①会議は公開とされており、傍聴制度も整備されていますので、市民に開かれたものとなっています。学校での教育委員会議の開催は考えていません。  
②校長会は、広い視野に立って教育の現代化に努め、義務教育の振興を図ることを目的に組織された任意団体です。意思決定の途上にある話し合いで、市民が自由に傍聴できるように一般公開は、なじまない組織であると考えます。  
③保護者・地域の声がより反映されるよう、各学校の評価を整備する必要がありますが

あると考えます。校長会との合同研究の中で、各校に共通した評価項目の作成や結果の公表の仕方について検討を重ねています。

問 救急医療体制の将来に向けての施策について3点お尋ねします。  
①全市民救急技術取得を目指し、中学校での普通救命講座の開催を。  
②消防職員の基礎体力維持管理の現状は。  
③より高いレベルで119番通報受信時の口頭指導を実現させるために、考慮すべき点は。

答 ①中学校での普通救命講座の開催は指導員確保の課題はありますが、若い世代から救命に対する認識を深めることは重要なことと考えていますので、教育委員会と連携を図りながら開催に

は、住民みずからが地域の抱えている問題に取り組める地域づくり、またNPO団体の育成や支援体制の充実が不可欠と思われ、先進各市の状況を参考にしながら研究していきます。

ついて検討します。

②災害現場活動においては、体力と精神力が要求されるので、日常から基礎体力の維持管理は、消防安全衛生委員会で検討し、各所属の安全衛生推進委員を責任者として積極的に取り組んでいます。

③救命講習会で得た経験、緊迫した状況での電話の話し方、指導法の研究など、さまざまな角度から検証して、わかりやすく効果的な指導手順の作成に努めていきます。早急に救命手当のわかりやすい図解説を作成し、成田市ホームページに公開します。

**問** 市民自治の確立について2点お尋ねします。

①行政評価を自治体改革に結びつける仕組み、第三者評価の実情、そして議会に対する評価結果の報告の見解を。

②自治体行政の危機管理について、情報セキュリティとコンプライアンス活動の見解を。

**答** ①評価及び進行管理の結果を各課の事業運営や予算編成、各種計画等の策定や進行管理に活用することにより行政改革の推進に結びつけていきます。マネージメントの主体である行政自身による内部評価が基本となっておりますが、第三者による外部評価はより効果的、客観的にするための機能として有効と考えますので、その導入について検討していきます。事務事業評価シートは職員みずからマネージメントサイクルを意識して現状分析評価を行うためのツールであり、多くの情報が記載されており、理解しづらい点もあり、議会への報告はしていませんが、今後わかりやすい報告の手法とともに検討していきます。

②情報資産に関する情報セキュリティ対策について、総合的かつ体系的に取りまとめ、管理保護に努めているところです。情報管理組織の確立や職員研修の実施及び業務のリスク分析等を行うことにより、常に情報セキュリティの認識を高めています。日々変化する脅威に対応するため、計画・実行・点検・処置の実施を循環させ、情報セキュリティポリシーの確立に努めていきます。

③救済現場活動においては、体力と精神力が要求されるので、日常から基礎体力の維持管理は、消防安全衛生委員会で検討し、各所属の安全衛生推進委員を責任者として積極的に取り組んでいます。

④救命講習会で得た経験、緊迫した状況での電話の話し方、指導法の研究など、さまざまな角度から検証して、わかりやすく効果的な指導手順の作成に努めていきます。早急に救命手当のわかりやすい図解説を作成し、成田市ホームページに公開します。

**問** まちづくりの今後について2点お尋ねします。

①見る観光から体験観光への変革を取り組む事例があるが、観光基本戦略は、②学社融合は、2つの負担を1つの負担で済ませることをねらっており、特に肥大化した学校の負担を軽減させることが期待されている。今後、学社融合の発展が期待されるが、成田市の見解と取り組みは。

**答** ①今後の観光施策は、見る観光から体験型観光を初めとする新たな魅力の創出、さらに周辺市町村の観光施設

### 東町高架配水塔周辺整備計画と病児・病後児保育の実施

内山 健 議員

**問** 東町の高架配水塔周辺整備計画について伺います。

①平成15年6月11日付で、東町区長からこの山を都市公園のような形で整備をして欲しい旨の要望書が市長宛てに提出をされているが、その進捗状況は。

②東町の配水塔は昭和34年に建設されたものだが、耐用年数や耐震構造に問題はどうか。また、改修計画は。

**答** ①平成12年度に作成した中心市街地活性化基本計画でも、今後整備を進める施設として位置づけられています。来年度からの事業実施を目指し、本年度において基本計画の策定を進めるとともに、国庫補助金を得るべく国・県に要望しているところです。

②建設されてから半世紀余りを経過し、改築の時期が来ているものと認識しています。高架配水塔の全面的な改修については、当該緑地整備事業計画と整合を図りながら、一体的な整備を行っていきたくと考えています。

**問** 小中学校における指定品目について。

①中学校における学校指定品目の取り扱いについて、教育委員会として昨年3月議会以降どのような努力や対応指導をしてきたか。

②指定品目は、今後ともできるだけ少なくするよう指導を。

③指定品目取扱店の指定店はどのような基準で決めているか。

等も視野に入れた広域的な観光施設等の回遊も含めた振興が必要であると考えます。このことにより、国際観光都市として魅力ある新たな観光振興の方向性を考えています。

②学社融合は、学校教育と社会教育の双方に主体があり、お互いの交流を通じて子供と大人の学習視野を広げるとともに、豊かな心をはぐくみ、双方の創造力を向上させることを目的としています。今後も地域のボランティア活動を中心にご協力をいただきながら、学社融合事業を充実させていきます。

**答** ①教育委員会では、平成15年12月、各中学校に対して標準服以外の指定品の取り扱いについて、保護者の負担をできるだけ少なくすること、学校用品を指定する場合は必要最小限にすること、指定はできるだけ安価で良質なものとすること、取扱店はできる限り複数の業者とすること、学校指定用品の見直しを図ること等の指導を行ったところです。

③各学校とも保護者が購入する際の利便性や価格を重視しながら取扱店を決定しています。



▲東町の高架配水塔

**問** 病児・病後児保育の実施について。

①現在、病児・病後児保育を実施していないが、各保育園での状況や現場でのスタッフのやりくりについて実情は。

②病児・病後児保育の実施時期や実施方法について、具体的な方向を示すべき。

**答** ①保護者の勤務等の都合でやむを得ず登園した子供を保育室以外の医務室や事務室でお預かりしたケースが、平成16年4月から8月までの間に74件ありました。スタッフについては、現在各保育園で実施しているのは、あくまでも通常保育の中で行っていることであり、国の要綱に定められた病後児保育事業ではありませんので、専任スタッフは配置していません。園長、主任、看護師等がその保育にあたっているのが現状です。

②病児保育については、医療機関での実施が原則となっており、病後児保育については、保育室・観察室または安静室を設けること、さらには専任のスタッフが配置すること等、病児・病後児保育の実施にあたっては、さまざまな課題がありますが、市民のニーズにこたえるべく、行動計画を推進する中で、具体化について検討していきたく考えます。

**問** 通学時における横断歩道での安全確保について伺います。

①登下校時での児童生徒の交通事故の発生状況は。

②交通安全指導員を市の非常勤特別職として委嘱し、危険な交差点や横断歩道での児童生徒の安全確保ができないか。

**答** ①平成15年度は23件、平成16年8月までは5件の報告を受けています。そのうち横断歩道での事故件数は、平成15年度6件、平成16年は2件となっています。

②交通安全のための人材配置などを含め、多面的な対策について研究していきたいと考えます。

### 防犯パトロールや教育行政の充実について

油田 清 議員

**問** 防犯パトロール隊等の充実発展について、3点伺います。

①専門的な人の配置が必要だと思いが、この質的發展について今後どのように考えているのか、専門員の配置についての考えは。

②幾つかの地区で歴史や形態は違うが、パトロールが行われている。ここを支援し、さらにそうした地域を強化拡大していくことが一番だと思いが。

③防犯情報を希望者の携帯電話にメールで流すことが行われ、不審者情報などが早く、確実に伝わると好評なようである。発信は情報の収集、分析能力も問われるため、市が一括して行う方法で、成田市としても実施に向けて検討されたい。

**答** ①元警察官を非常勤職員として2名を雇用し、青少年育成指導員として防犯パトロール活動の中心となって活動しています。今後、人員の増加については、これまでの活動の実績を分析

任のスタッフが配置すること等、病児・病後児保育の実施にあたっては、さまざまな課題がありますが、市民のニーズにこたえるべく、行動計画を推進する中で、具体化について検討していきたく考えます。

**問** 学校給食費徴収システムの改善について、未納者、未納額についてどのように把握し、対処しているのか。

**答** ①実施にあたっては、通知表発行回数が増えることによる児童生徒や保護者の不安、また学期途中に長期休業日が入ることによる学習の連続性や学校生活のリズムが崩れることなどの課題も指摘されています。2学期制を導入するかどうかについては、その成果や課題を踏まえ、印旛郡市や千葉県内の動向も視野に入れて検討していきます。

②小学生はより近くの学校に通学することが望ましく、また登下校時の安全性や地域コミュニティなども考慮する必要もあることから、当面、教育委員会としては複式学級としない学級編制を県に要望していきたいと考えています。

**問** 市長はこの合併を進めている中で、民意の集約をきちんとしてできているという認識をしているか。

**答** 民意の集約としては、住民説明会と並行して「基本構想概要版」や「協議会だより」、「協議会ホームページ」などによりパブリックコメントを実施し、約80件のご意見をいただいたおかげで、基本構想案の段階の住民意向の把握として一定の成果を得たと考えています。また、今後の民意の把握方法については、現在、策定作業を進めている基本計画には、より具体的な施策が盛り込まれ、住民の方々の関心も高まるものと思われるので、基本計画の住民説明会については、より多くの方々に理解をしていただくために、よりきめ細かな対応を検討していきたく考えています。

しながら考えていきます。現在行っているパトロールの拡充として、県の緊急雇用創出基金補助事業を活用して、防犯パトロールの強化を図る予定です。

②自主防犯活動を推進している地区パトロール隊との連携強化を図るべく、どのような支援が可能かアンケート等の調査を行い、研究してまいります。

③防犯情報の配信については、緊急時に災害等の情報を迅速に地域住民の方の携帯電話や個人パソコンに配信するシステムの導入を検討しています。

**問** 教育行政の充実について3点、伺います。

①全国的に2学期制が導入され始めている。市としては、メリット、デメリットを含め今後の方向性についてどのように認識しているのか。

②学校の適正規模・適正配置計画をどう生かしていくのか、児童生徒の減少する学校への対応についての見解を。

③学校給食費徴収システムの改善について、未納者、未納額についてどのように把握し、対処しているのか。

**答** ①実施にあたっては、通知表発行回数が増えることによる児童生徒や保護者の不安、また学期途中に長期休業日が入ることによる学習の連続性や学校生活のリズムが崩れることなどの課題も指摘されています。2学期制を導入するかどうかについては、その成果や課題を踏まえ、印旛郡市や千葉県内の動向も視野に入れて検討していきます。

②小学生はより近くの学校に通学することが望ましく、また登下校時の安全性や地域コミュニティなども考慮する必要もあることから、当面、教育委員会としては複式学級としない学級編制を県に要望していきたいと考えています。

③収入調定及び学校からの関係リストの送付により滞納実態の把握を行っています。また、徴収事務は児童生徒本人が在学中の場合は、学校で扱っています。児童生徒が卒業・転出等の場合は、給食センターで取り扱っています。給食センターの体制等さまざまな課題もあることから、学校で徴収事務をすることとし、徴収方法については、他市の状況を参考に調査研究していきます。

**問** 市長はこの合併を進めている中で、民意の集約をきちんとしてできているという認識をしているか。

**答** 民意の集約としては、住民説明会と並行して「基本構想概要版」や「協議会だより」、「協議会ホームページ」などによりパブリックコメントを実施し、約80件のご意見をいただいたおかげで、基本構想案の段階の住民意向の把握として一定の成果を得たと考えています。また、今後の民意の把握方法については、現在、策定作業を進めている基本計画には、より具体的な施策が盛り込まれ、住民の方々の関心も高まるものと思われるので、基本計画の住民説明会については、より多くの方々に理解をしていただくために、よりきめ細かな対応を検討していきたく考えています。

# 空港問題・予算・入札問題について

尾形英司 議員

**問** ①成田空港の完全化は早急に実現するために、国に対し北側延伸の協力を申し出て、十分な騒音対策を要求しながらインシアチブを取り、平行滑走路を早期に完成して欲しいと思うが、市長の見解を。

**答** ②低成長が続く今日、企業誘致の行動を起こさなければ優良企業の進出は難しくなる。空港周辺が国際空港特区に指定されたので、誘致条例をつくり、国際空港特区を大いに活用して欲しいと思うが、市長の見解を。

**答** ①現在の暫定平行滑走路も本来計画より北側へ800メートル延伸しており、現時点でさらに北側へ延伸することになれば、新たな騒音問題も発生することになり、特に滑走路北側地域住民の方々の理解を得ることが大変難しいものと考えています。

②企業誘致の条例制定については他市町村の企業誘致条例を調査検討したところ、その対象企業の区域を工業団地あるいは、市街化区域に限定しているようです。千葉県国際空港特区にあわせて、成田国際物流複合基地の整備が行われているところであり、新たに企業進出可能区域が設定されたときには、企業誘致条例等の制定について、検討を行います。

**問** ①財政課主導をやめ、各部署がそれぞれの責任で行って財政効率化を図ることで、各職員に少ないコストで効果を生み出すことを徹底させて欲しい。具体的には、財政課が各部署ごとの財源枠を割り当て、部長は枠内で自由に予算を編成し、使い残した財源は、その半額を翌年度の財源枠に加算するようになれば、単年度での使い切りによる止めをかけられる。市長の考えを。

②具体的な使途を明示するミニ公募債の普及は、市民が地方財政に目を向けるきっかけになる。税金で返済することにより、自治体は事業についての詳細な説明責任も求められる。ミニ公募

債発行の必要性とその時期について。③財源を増やす工夫として、次の6つが考えられる。成田空港の完全化による成田空港株式会社からの法人税、空港周辺の経済特区を活用する企業誘致、空港周辺に大型の観光施設の誘致、公共事業の縮小など事業の見直し、水道料金等の公共料金や住民票などの手数料の値上げ、合併を見据えた行財政改革の推進などがあるが、どの政策を優先するのか。

**答** ①各部に財源枠を配当する予算編成は、千葉県を初めとして県内の規模の大きい都市で実施しているところですが、政策的経費を捻出するための1つの手段としている面も見受けられます。枠配当予算編成は、今後拡大する予算規模への対応、各部において独自に事業を再構築することや重点事業の予算配分等を行えるメリットがあり、先ず、財政の硬直化を招かないように、先進市の事例等を参考にし、今後とも調査・研究してまいります。

②市民にとって親しみやすく、かつ積極的に行政への参加を求めるのにふさわしい事業について、ミニ公募債を発行することが望ましいと考えていますので、そのような事業を選定し、発行の時期も含めて検討してまいります。

③成田市第4次行政改革大綱に基づき、事務事業の見直し、経費の削減合理化、受益と負担の公平確保、補助金の整理合理化等を推進することが財源の確保につながるものと考えています。

**問** ①公津の杜小学校新築工事に関して談合疑惑情報による入札延期をどのように考えているか。

**答** ①今回の情報は落札業者が1社に絞られていることから、慎重に対応すべく入札を一旦延期し、公津の杜小学校の工事に関係するすべての業者から事情聴取を行うとともに、特に書

面をもって勧告をし、さらに入札当日には誓約書の提出を求めました。結果的には、談合情報と異なる全く名前の挙がっていない会社落札しましたが、今回の一連の怪文書、談合情報等の騒動については、いたずらに市政の混乱を招いたと同時に、個人を陥れようとする中傷的で非常に悪質なものと考えています。

②今回のような一連の騒動を踏まえ、今後の入札制度のあり方については、改めて検討してまいります。そのために、県内あるいは県外の幾つかの先進市を視察し、資料収集を行い、再度制限付一般競争入札または郵便入札等の導入についての検討を行った上で、最終的には電子入札の導入等が図られるよう努めてまいります。

## 持続可能なまちづくり

大倉富雄 議員



▲釣り人も訪れるバタ池

村と連携を図り、水質浄化に取り組んでいきたいと思います。

③親水性のある良好な水辺環境を維持したいと考えます。

④議員ご指摘の新たな取り組みも念頭に市民への環境教育、学習の推進を努めていきたいと思います。

⑤身近な環境への興味関心を高め、自然を理解し、その環境保全を考えることが、ひいては地球環境の改善につながることを児童生徒に伝えていけるように、今後とも環境教育の一層の推進に努めていきたいと思います。

**問** 持続可能なまちづくりについて

①地球温暖化防止対策を進めるために、新エネルギービジョンを策定することが求められていると考えるが、市の見解は。

②印旛沼水質浄化に向けた、これまでの取り組みと今後の見通しは。

③バタ池の水質浄化について、どのような考えを持っているのか。

④環境活動の実践を担う、リーダー的人材を育てていくような仕組みづくりをする考えはないのか。

⑤学校教育における環境教育の基本的な考え方は。

**答** ①環境基本計画の中で、地球温暖化防止などの施策を推進し、持続可能な環境にやさしいまちづくりを推進していきたく思います。

②今年度から印旛沼流域を対象とした、高度処理型合併浄化槽の設置補助を制度化して普及促進し、今後も関係市町

②今回のような一連の騒動を踏まえ、今後の入札制度のあり方については、改めて検討してまいります。そのために、県内あるいは県外の幾つかの先進市を視察し、資料収集を行い、再度制限付一般競争入札または郵便入札等の導入についての検討を行った上で、最終的には電子入札の導入等が図られるよう努めてまいります。

③親水性のある良好な水辺環境を維持したいと考えます。

④議員ご指摘の新たな取り組みも念頭に市民への環境教育、学習の推進を努めていきたいと思います。

⑤身近な環境への興味関心を高め、自然を理解し、その環境保全を考えることが、ひいては地球環境の改善につながることを児童生徒に伝えていけるように、今後とも環境教育の一層の推進に努めていきたいと思います。

**問** 住宅政策について

①住宅マスタープランの今までの経過と、今後の取り組みについて。

②市営住宅のあり方について、どう考えているか。

**答** ①魅力ある住まいのためのまちづくりの推進については、成田山表参道の伝統的街並みを生かした景観整備を行うとともに、区画整理事業を活用した優良な住宅地の供給に努め、統一感のあるまちづくりを推進してまいりますが、社会情勢の変化に対応した本計画の見直しを図っていきたく思います。

②不動産市場を初め、老朽化の著しい住宅については、公営住宅の需要の動向を踏まえた整備計画を策定する必要がありますが、次期5か年計画の中で検討してまいります。

**問** 景観緑三法について

①本年、景観緑三法が制定されたが、成田市の景観の現状をどのように認識

しているか。

②成田市の計画との整合性を、どのように考えているのか。

③成田の魅力が高めるための美しい景観づくりに、今後どのように取り組んでいくのか。

**答** ①景観はまちづくりの基本であり、良好な景観を保全、形成、創設することが重要であると考えており、また市民、企業、行政が協働で取り組まなければならぬ事業と認識してまいります。

②成田市の実情を踏まえ、十分に整合性を図っていきたく思います。

③今後も良好な景観の創造を図っていくために、景観緑三法の主旨を踏まえ、これまで以上に知恵を出し合っていく必要があると考えます。

**問** 市民ギャラリーの設置について

生涯学習を積極的に推進することにより、日ごろの学習の成果を発表する場が欲しいとの市民の声が、年々高くなる傾向にある。こうした市民のニーズ

に答えることが必要であると考えますが、市民が行う芸術文化活動は、多岐にわたりその活動の成果を発表する機会が少なく、適当な会場が不足していることは認識しています。今後の生涯学習施設計画に市民ギャラリーの設置を盛り込みたいと考えていますが、当面は成田観光展示コーナー等の既存施設の有効活用を図るとともに、民間活力を導入した市民支援活動を展開していきたいと考えます。

カラ、水分を補給しながら各地の状況や行政の仕組みを、一部分ではあります但勉強してまいりました。

『表と裏』実際に経験してみないとわからない一部分を体験しました。大鳴紬のように表と裏が同じであるように願うものですが、綺麗すぎてうまくいかない事もしばしばある事も事実。さて表と裏、いちばんわからないのは人間それとも政治。

表と裏、表裏一体、言葉には色々な表現があります。社会を経験していくうちに様々な場面に遭遇し、昔からのことわざにあるような事を体験することがあります。

この度、南半球のオーストラリアに行く機会を得ました。赤道を挟んで日本と反対の位置にあります。当然の事ながら夏と冬が日本とは逆になります。冬から春に移った時期にも関わらず、滞在期間中の気温は30度を上下するような暑さと、乾燥した空気で喉がカラ

成田市議会のホームページは、成田市のホームページからどうぞ！

<http://www.city.narita.chiba.jp/>

12月定例市議会は、12月3日(金)開会予定です。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

「成田市議会だより」についての  
お問い合わせは、市議会事務局へ

☎ (20) 1570 直通  
ファクス(24) 0336